



川特げんきだより

長崎県立川棚特別支援学校
令和7年5月2日 発行
文責：文化図書部

「地域へ発信」

長く続いた冬が終わり、4月にやっと春らしくなると期待していましたが、未だに寒い日が続いています。近頃は、中国から飛来する黄砂の影響で、車の汚れが気になるところではありますが、それ以上に、花粉症に似た症状が出ており、どうやら「黄砂アレルギー」のようです。皆様もお気を付けください。

さて、今年度、川棚特別支援学校は、110名の児童生徒と65名の職員を合わせ総勢175名が、自然豊かな川棚町小串郷の地で学校生活を送ります。児童生徒が、もてる力を発揮し、難しいことにも挑戦しながら学び、生きる力を身に付けられるよう、職員一同一丸となって指導していく所存です。

4月の始まりと同時に、「かわたな・はさみタウンバス」が本校に入構するようになり、保護者の皆様には登校時にご不便をおかけしていますが、ご理解とご協力をいただいたことで、現在までトラブルなく過ぎております。また、バスの入構に際しましては、小串トマト組合の皆様をはじめ、近隣の皆様にもご理解とご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

今年度は、「かわたな・はさみタウンバス」の終点となった本校を知っていただくチャンスであると捉え、これまで以上に川棚町にある特別支援学校として、発信していきたいと思っています。引き続き小学部は、小串小学校との交流や、近隣への社会体験学習。中学部は、小串保育園へのプレゼント渡しや、ボランティア活動として小串郷駅の清掃活動等。高等部は、積極的にボランティア活動を行い、川棚町役場の清掃や地域清掃のほか、作業製品のバザーも行います。創立52年目の今年度は、更に地域に貢献できる活動を計画中です。

地域で学び、地域と共に歩み、発展していく川棚特別支援学校でありたいとの思いですので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 入学式 ～ようこそ川特へ！～

令和7年4月9日の入学式では、新入生は少し緊張した様子もありましたが、先輩や先生たちに見守られながら、期待に満ちた晴れやかな表情で入場しました。

高等部入学式では校長から入学を許可され、小・中学部入学式では、呼名に対し元気な声で返事をすることができました。高等部に20名、中学部に12名、小学部に4名の新たな仲間が加わりました。

